

～ しだみこちゃんシリーズ ～

こぶん づくりの おとつ だい



たず
訪ねてみよう!

くにしていしせき
国指定史跡

なかやしろこぶん
中社古墳



- ぜんほうこうえんぶん
◎前方後円墳
- ぶんぎゅうちよう
◎墳丘長約63.5m
- しゅつどひんはにわ
◎出土品:埴輪
- ねんだいせいぎなかごろこぶんじたいぜんぎ
◎年代:4世紀中頃(古墳時代前期)

こぶんかたち
古墳の形は、まるとしかくの丘からなる前方後円墳です。

あか
まるい丘のうえにおやしろがあります。



キクリちゃんがすむおやしろ

ふきいし
があるよ!

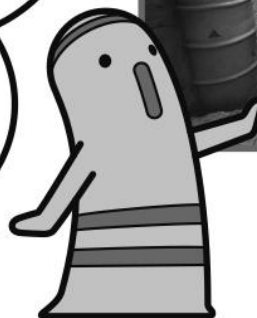


ふきいしはにわれつ
貫石と埴輪列が
ふくげん
復元された中社古墳

なかやしろこぶん
中社古墳から
しゅつど
出土した
えんとうはにわ
円筒埴輪は
とうかいちほう
東海地方で
さいこぎゅう
最古級のもの
なんだ!



しゅつど
出土した
はにわれつ
埴輪列のようす



このおはなしにとうじょうするキャラクター

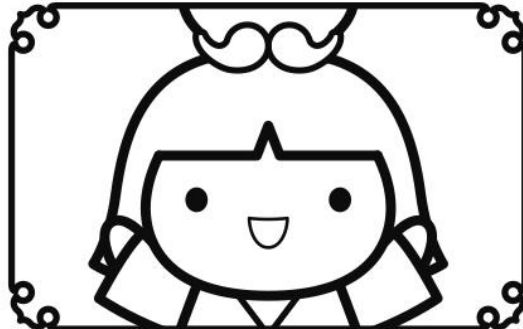


キクイちゃん



とうごくさん なかやしろこふん
東谷山にある中社古墳にまつられてい
る菊理 媛命をモデルにしました。

しだみこちゃん



こふんぐん で ひがしにほんさいこきゅう
しだみ古墳群から出てきた東日本最古級
のみこがたはにわ
の「巫女形埴輪」がモデル。なまえは
「しだみ+みこ=しだみこ」となりました。

はにわうじたける



つひと たんじょう
しだみこちゃんの付き人として誕生しま
した。

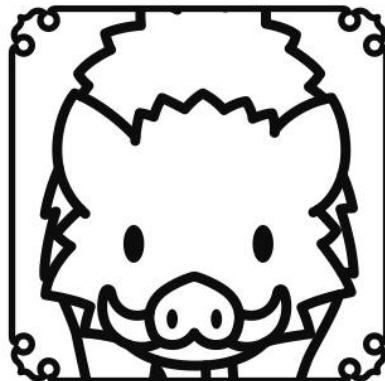
おらびと



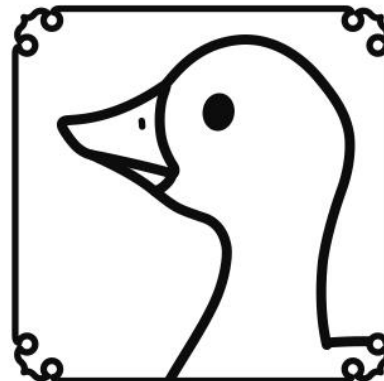
しが



いのしし



とい

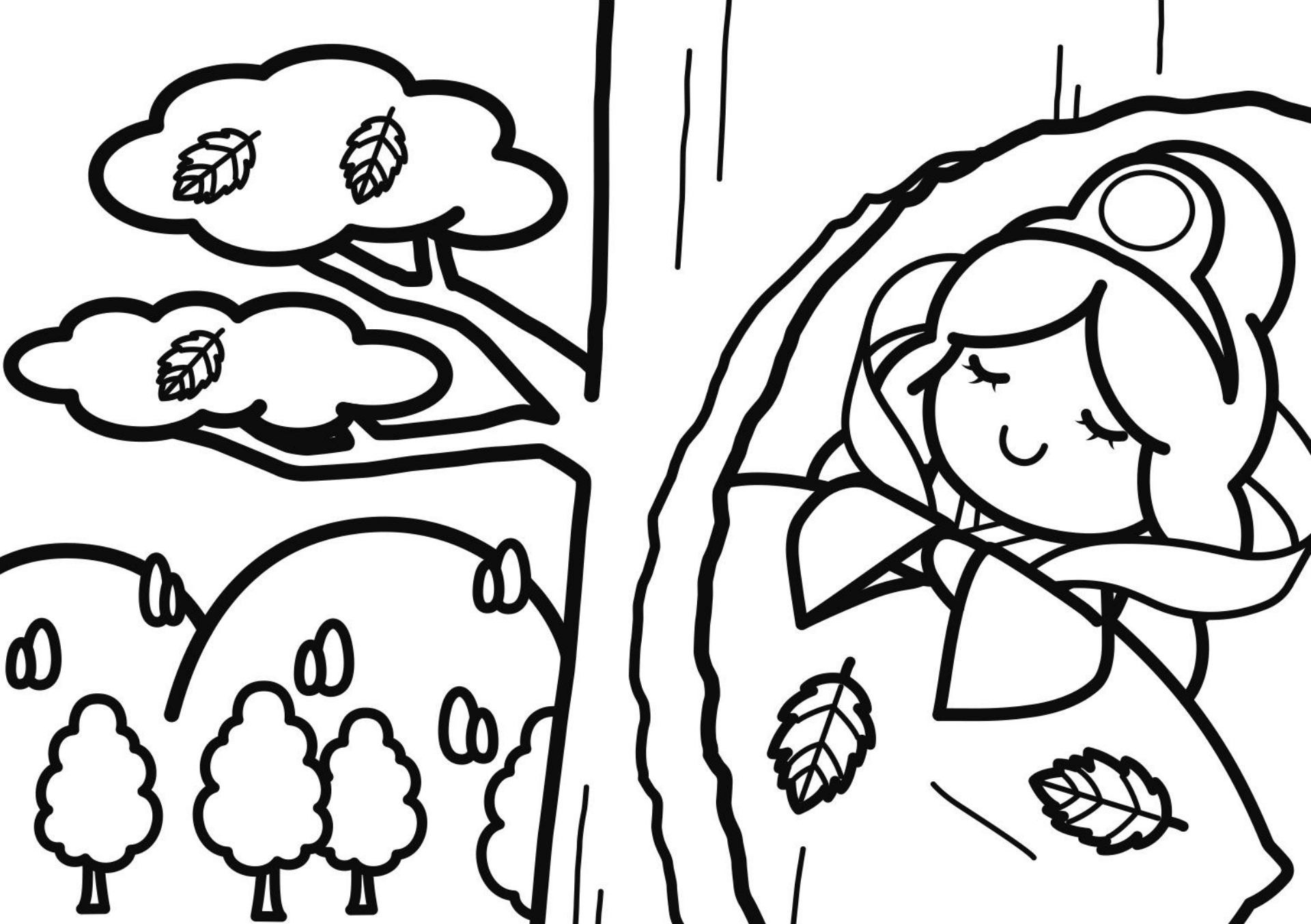


むかしむかし このやまには キクリちゃんという こどものかみ
さまが すんでいました。

あるあさの ことです。

キクリちゃんは むらびとたちの さわがしいこえで めをさまし
ました。

「いつもは ことりさんの さえずりで めをさますのに きょうは
なんだか にぎやかだなあ」



キクリちゃんは きょうみしんしんで こえのするほうへ いったみました。

そこでは むらびとたちが いちれつにならび おおきないしを てわたしして やまのちょうじょうに はこんでいました。

「へいほ!へいほ!

と こえを かけあい みんなあせをたらして はこんでいます。

「なにを しているんだらう?」

キクリちゃんは いしが はこばれていく やまのちょうじょうに たしかめに いくことにしました。



ちょうじょうに ついて びっくり!

むらびとたちは たくさんの いしを やまのように ならべています。
ちょうどそこへ しだみこちゃんが やってきたので キクリちゃんは
たずねました。

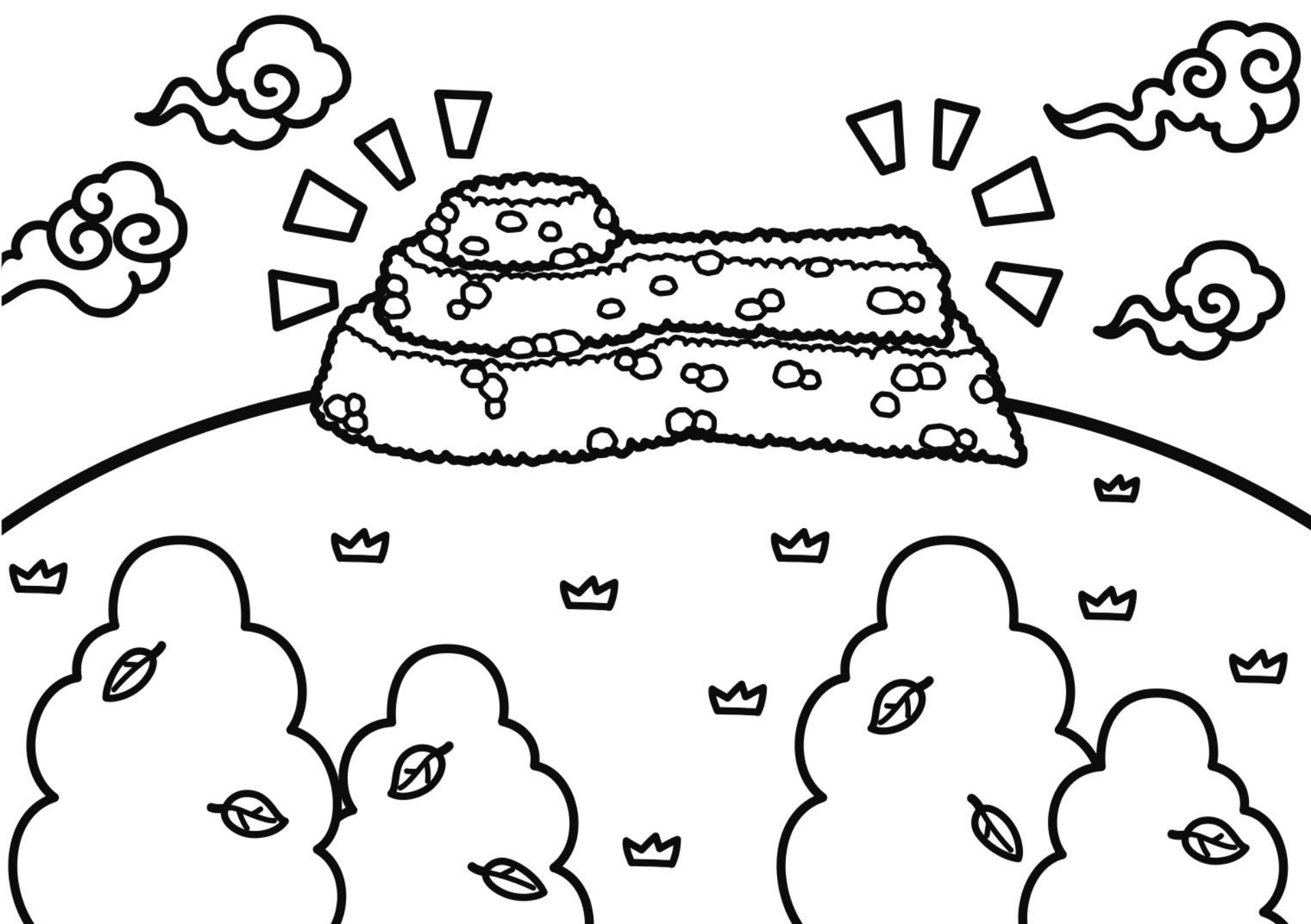
「ねえねえ、しだみこちゃん。むらびとたちは いったい なにを して
いるの？」

しだみこちゃんは とくいげに こたえます。



「あれは おうさまのために『こぶん』と よばれるおはかをつくっているのよ。いしでかざると しろくひかって とおくからでもよくみえるでしょ。」

いっしょうけんめい いしをはこぶ むらびとたちを みていたら キクリちゃんとしだみこちゃんも おてつだいを したくなりました。



「そうだ! むらびとたちが ねている よるのあいだに いしをはこ
んであげようよ!」

ひがしずみ むらびとたちは いえに かえりました。

キクリちゃんと しだみこちゃんの いしはこびが はじまります。

「よいしょ!よいしょ!」

「おもたいねえ」

「よいしょ、よいしょ、うーん、よいしょ。」

「たいへんだねえ」

いしはこびは とてもとても たいへんです。



ふたりが いしを はこんでいると たくさんのしかや いのししたち
が てつだいにやってきました。

ちからもちのいのししは きばをつかって じょうずに いしを ころ
がします。

しかは たくさんのいしを つのにのせて はこんでいます。

とりたちは じょうずに いしを せおって のぼっていきます。



「どうぶつたちに まけないぞ！」

しだみこちゃんが きゅうなさかみちを いっきに のぼろうとした
とき きりかぶに つまづいてしまいました。

「あ——れ——!たすけて———!!」

「よいしょっと!もう だいじょうぶ。」

ころがりそうな しだみこちゃんを はにわうじが たすけにきまし
た。

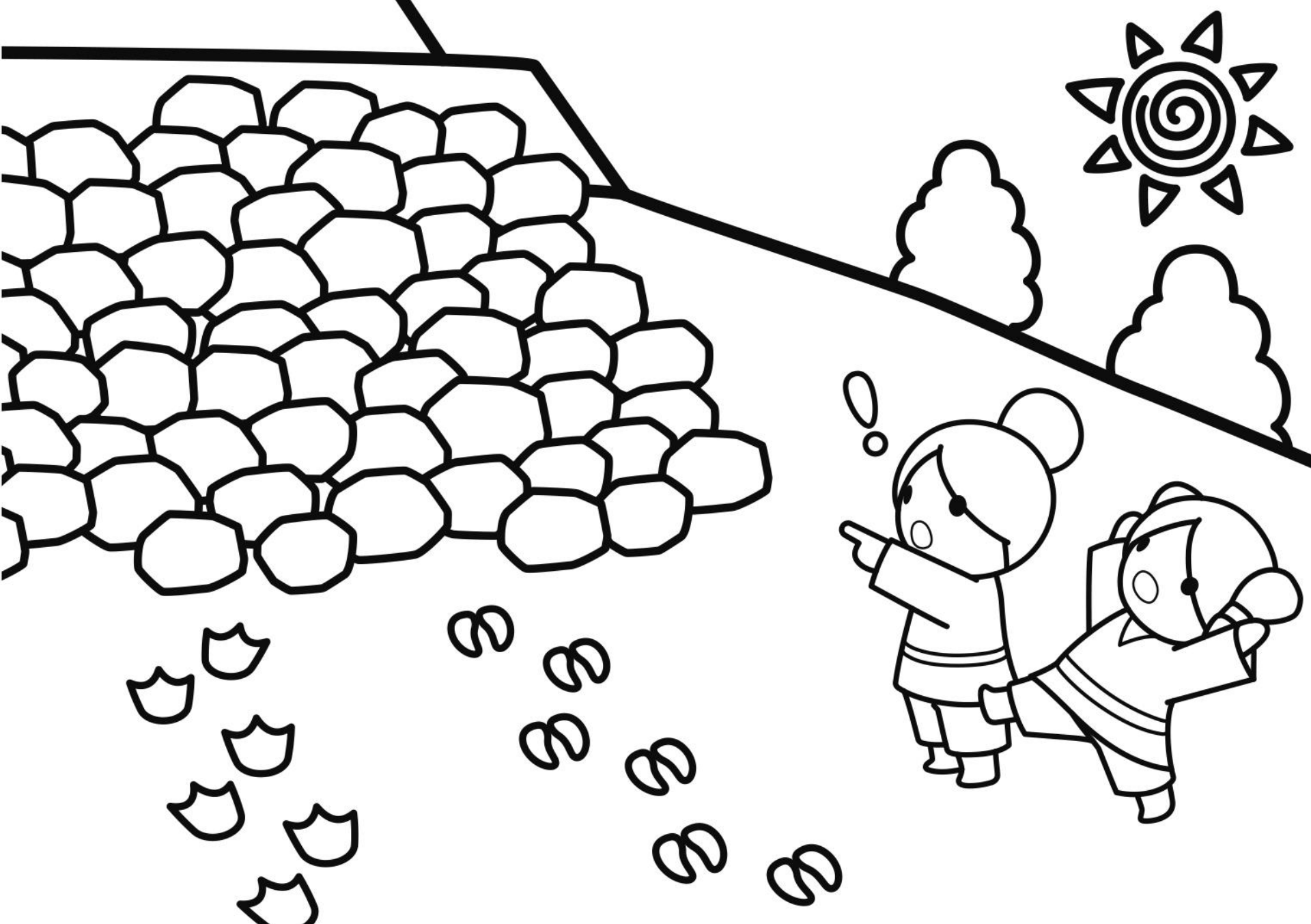
こうして みんなで たくさんのいしを はこぶことができました。



あさになると また むらびとたちが やってきて いしを はこびます。

「おや?なんだか きのうよりも いしが たくさん ならべられているぞ。」

「こっちには いのししや しか、とりの あしあとが あるぞ。もりの どうぶつたちもおうさまの ために きょうりよくしてくれているんだ。」

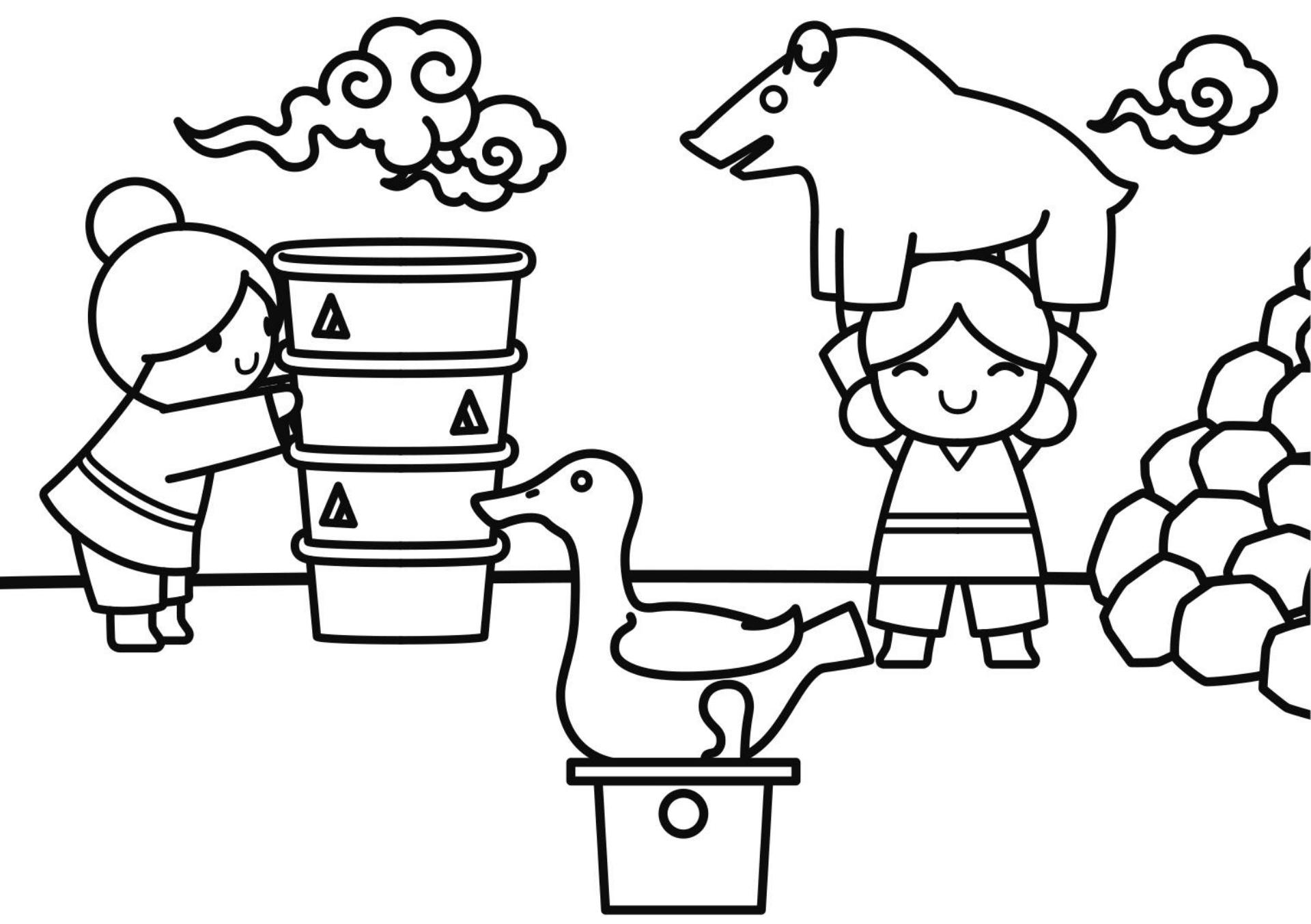


こふんを いしで かざったあとは はにわを ならべていきます。

「そうだ!どうぶつたちも てつだってくれたので おれいに いのし
しゃ とりの はにわも おこう!」

「それは いい かんがえだ!おうさまも よろこぶぞ!!」

キクリちゃんと しだみこちゃんと はにわうじは それをきいて
にっこりしました。



こうして いしで かざられたこぶんのまわりに たくさんの はにわ
が ならべられました。

みんなで きょうりよくをして とても りっぱな こぶんが かんせ
いしました。

しろくひかる 『ぜんぽうこうえんぶん』です。



それから ながいねんげつがたち こぶんには きがはえて やまの
いちぶに なりました。

のちに こぶんは かみさまも てつだって つくられたことから
むらびとたちによって こぶんのうえに
かみさまを まつる おやしろが たてられました。

みなさん もう おわかりでしょう。

おやしろのなかには キクリちゃんが いて いつも こぶんを みま
もっているのですよ。 おしまい





ぬって あそぼう!

よんで まなぼう!

原作 itou atsushi (学生)

発行 名古屋市教育委員会 文化財保護室
名古屋市中区三の丸三丁目 1-1

2019(平成 31)年 3 月 29 日

このおはなしをよんで、
きょうみがでたら、しだみこふんぐん
にあそびにきてください。



日本書紀

是墓者日也人作。夜也神作。
故運大坂山石而造。
則自山至于墓。人民相踵。
以手遞傳而運焉。

な ら じ だ い へんさん
奈良時代に編纂された

にほんしょ き かん すじんてんのう がつ やまとととひめのみこと はか つく ぼめん きさい
『日本書紀』のなかの巻5「崇神天皇9月」には、倭迹迹姫命の墓を造る場面が記載されています。

このはか は ひる は ひとがつくるなり よる は かみがつくるなり ゆえおおさかやまのいしをはこびてつくる
「是ノ墓ハ者日ハ也人作。夜ハ也神作ル。故運テ大坂山ノ石ヲ而造ル。」

ぼめん し だ み こふんぐん こふんづく そうぞう そうさく
このおはなしは、この場面と志段味古墳群の古墳造りを想像して創作しました。

「歴史の里 しだみ古墳群」へいこう!

しだみゆー こだい ごー
SHIDAMU で古代へGO!

JR高蔵寺駅

東谷山

東谷山白鳥古墳

尾張戸神社古墳

白鳥塚古墳

勝手塚古墳

志段味大塚古墳

なかやしろこぶん

中社古墳

東谷山フルーツパーク

南社古墳

しだみゆー
SHIDAMU はここだよ!

大久手3号墳

大久手5号墳

大久手4号墳

大久手池

